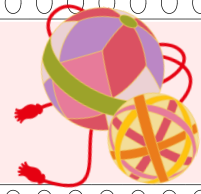




恭賀新年



きね川日記



きね川福祉作業所内の日々の出来事をお伝えします。

2022. 1. 13



ごあいさつ

明けましておめでとうございます。12月28日から年末年始のお休みでしたが、久しぶりに利用者さんの元気な笑顔の再会から新しい年がスタートしました。

新春を迎えて、いよいよこれから本格的な寒い季節になります。初夏に口にする瑞々しい枇杷は、冬の一番厳しいこの時期に開花し、じっとこの寒さを耐えているそうです。どうしても実だけに目が向きますが、実がなるのには葉が一定数必要です。酢橘の実が実るのには最低8枚の葉が必要。レモンなら25枚以上、橙の場合は最低80枚も必要だそうです。

冬に開花する枇杷のようにいろいろな環境にも耐え、実を結ぶ木々の葉のように、時間を掛けて必要な条件を共に少しずつ整えて、実を結ぶまで、今年も利用者の皆さんと一緒に過ごして参ります。

施設の運営をしていると、色々なご意見を耳にします。色々あるのはとても自然なことと思っています。自分の価値観は、自分だけの経験から生まれるものなので、立場立場が見えてきます。

きね川福祉作業所のように、多くの人が共に暮らしていれば、生活習慣も価値観も違うためにぶつかり合う事も当然起きます。だからといって一方が正しい事なんてあり得ないし、一方だけが責任を迫られるのもおかしい。何故ならば、集団生活は、そこに生活を共にする人達が、共に時間を掛けて経験から作りだして行くものなので。

これからも一つ一つの経験を大切にして、皆で共有しながら、皆んなのきね川福祉作業所を今年も作っていきますのでよろしくお願い致します。

施設長 本田直記